



T-POINT

NEWS RELEASE

2015 年 10 月 29 日

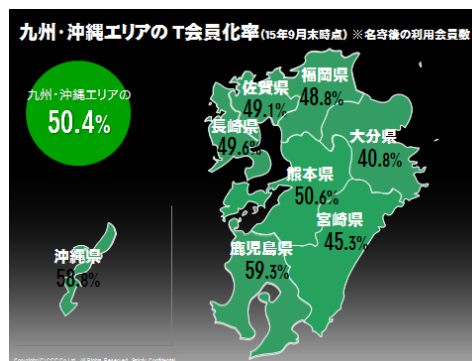
報道関係各位

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

九州・沖縄エリアの T カード保有者が居住者の 5 割を突破いたしました ～名寄せ後の利用会員数で 727 万人（前年同月比 115.6%）～

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：増田宗昭、以下「CCC」）が展開する日本最大の共通ポイントサービス「T ポイント」において、このたび、九州・沖縄エリアの T 会員数が九州・沖縄の居住者の 5 割を突破し、前年同月と比較して 98 万人増の 727 万人、人口比で 50.4%となりましたので、お知らせいたします。

2015 年 9 月末現在、直近 1 年間に T ポイントをご利用いただき、かつ T カードを複数枚お持ちの方は一人として数えた名寄せ後の利用会員数は、日本全国で 5,556 万人を数え、日本人の人口に占める割合は 43.6%となります。その中で、福岡県は 248 万人（人口比 48.8%）、佐賀県は 41 万人（人口比 49.1%）、長崎県は 68 万人（人口比 49.6%）、熊本県は 90 万人（人口比 50.6%）、大分県は 48 万人（人口比 40.8%）、宮崎県は 50 万人（人口比 45.3%）、鹿児島県は 98 万人（人口比 59.3%）、沖縄県は 83 万人（人口比 58.8%）となっています。



九州・沖縄エリアの T 会員数増加の背景には、ドラッグイレブン（ドラッグストア）、レッドキャベツ（スーパー）、プラッセ&だいわ（スーパー）、琉球銀行、リウボウストア（スーパー）など九州や沖縄の地域限定で店舗展開している企業の T ポイント提携拡大、また 2010 年より鹿児島と佐賀で実施している LPGA 公認ツアー「T ポイントレディス ゴルフトーナメント」開催、加えて、本年 7 月 24 日より福岡ヤフオク！ドーム、九州エリアの TSUTAYA 店舗（沖縄除く）など地域限定で発行している「福岡ソフトバンクホークス×T カード」の発行増により、T ポイントが九州・沖縄にお住まいの方にとって身近なポイントサービスとして受け入れられていることが挙げられます。その結果、多くのお店で貯まる・使える共通ポイントサービス「T ポイント」の認知が広がり、日常的に幅広い世代の方々にご利用いただいたことで、九州・沖縄エリアの 2 人に 1 人が T カードを保有するまでに至りました。

CCC は、今後も、T カードをお持ちでないお客さまの"きっかけ"と"ニーズ"を創出するため、T カードに新たな機能・サービスを付随することで、幅広い世代にご支持・ご満足いただけるサービスの提供を図ってまいります。そして、いつでも、どこでも、誰でも、何にでも利用できる共通 ID「T カード」としての新たな価値創造を目指してまいります。

本件に関するお問い合わせ：

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社
広報担当：安藤／TEL：03-6800-4464

「カルチュア・インフラ」を、つくっていくカンパニー。

